

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/010544

International filing date: 02 June 2005 (02.06.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-166125
Filing date: 03 June 2004 (03.06.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 07 July 2005 (07.07.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 4 年 6 月 3 日

出 願 番 号
Application Number: 特 願 2 0 0 4 - 1 6 6 1 2 5

パリ条約による外国への出願
に用いる優先権の主張の基礎
となる出願の国コードと出願
番号

The country code and number
of your priority application,
to be used for filing abroad
under the Paris Convention, is

J P 2 0 0 4 - 1 6 6 1 2 5

出 願 人
Applicant(s): 松下電器産業株式会社

2 0 0 5 年 6 月 2 2 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】	特許願
【整理番号】	2968260016
【あて先】	特許庁長官 殿
【国際特許分類】	H04M 1/57
【発明者】	
【住所又は居所】	広島県東広島市鏡山3丁目10番18号 株式会社松下電器情報システム広島研究所内
【氏名】	柏原 和行
【特許出願人】	
【識別番号】	000005821
【氏名又は名称】	松下電器産業株式会社
【代理人】	
【識別番号】	100105175
【弁理士】	
【氏名又は名称】	山広 宗則
【電話番号】	082-222-9109
【選任した代理人】	
【識別番号】	100105197
【弁理士】	
【氏名又は名称】	岩本 牧子
【手数料の表示】	
【予納台帳番号】	043775
【納付金額】	16,000円
【提出物件の目録】	
【物件名】	特許請求の範囲 1
【物件名】	明細書 1
【物件名】	図面 1
【物件名】	要約書 1
【包括委任状番号】	0215016

【書類名】 特許請求の範囲

【請求項 1】

発信時に相手先情報を、受信時に発信者情報を表示する表示機能を備えた通信端末において、

電話又は電子メールの送受信を行う通信部 1 と、

電話又は電子メールを送受信する相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶部と、

前記送受信相手の個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信相手から受信する通信部 2 と、

前記通信部 2 から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶部に登録する相手情報取得部と、

前記通信部 1 で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶部に登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定部と、

前記通信部 1 で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶部に登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定部を備えたことを特徴とする通信端末。

【請求項 2】

さらに、前記通信端末は前記個人情報記憶部に登録されている任意の個人情報と表示属性を選択する個人情報抽出部を備え、

前記選択した個人情報と表示属性を前記通信部 2 より、通信相手に送信することを特徴とする請求項 1 記載の通信端末。

【請求項 3】

前記通信部 2 は、近距離無線通信を使った通信方式であることを特徴とする請求項 2 記載の通信端末。

【請求項 4】

前記通信部 2 に代わって、前記相手情報取得部で取得する送受信相手情報と、前記個人情報提供部で提供する個人情報の送受信を通信部 1 で行うことを特徴とする請求項 1 記載の通信端末。

【請求項 5】

発信時に相手先情報を、受信時に発信者情報を表示する表示機能を備えた通信端末の表示方法において、

電話又は電子メールの送受信を行う通信ステップ 1 と、

電話又は電子メールを送受信する相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶ステップと、

前記送受信相手の個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信相手から受信する通信ステップ 2 と、

前記通信ステップ 2 から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶ステップに登録する相手情報取得ステップと、

前記通信ステップ 1 で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップと、

前記通信ステップ 1 で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップを備えたことを特徴とする通信端末表示方法。

【請求項 6】

発信時に相手先情報を、受信時に発信者情報を表示する表示機能を備えた通信端末の表示プログラムにおいて、

電話又は電子メールの送受信を行う通信ステップ 1 と、

電話又は電子メールを送受信する相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶ステップと、

前記送受信相手の個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信

相手から受信する通信ステップ２と、

前記通信ステップ２から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶ステップに登録する相手情報取得ステップと、

前記通信ステップ１で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップと、

前記通信ステップ１で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップを備えたことを特徴とする通信端末表示プログラム。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通信端末、通信端末表示方法、及び通信端末表示プログラム

【技術分野】

【0001】

本発明は、送受信相手から入手した電話番号やメールアドレス等の個人情報を電話機で表示させないセキュリティ機能を装備した通信端末に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、固定電話機、携帯電話機やPHSなどにおいては電話帳機能があり、友人や知人から入手した電話番号を電話帳に登録することで、電話発信時に電話番号を入力する代わりに電話帳に登録した名前を選択することで、簡単に電話発信することができる。

また、電話帳に未登録の発信者から電話がかかってきた場合は、着信履歴に発信者の電話番号が残るため、簡単に電話帳に登録することができる。

しかしながら、電話帳に登録した発信者の電話番号や着信履歴に残った発信者の電話番号は、電話番号所有本人の意志とは無関係に携帯電話機所有者の意志で、悪意のある第三者に対して開示されることがあり、電話番号所有本人に対して不利益が生じるケースがあった。

このような課題を解決する方法として、電話帳にシークレットフラグを設定することで、シークレットフラグを設定した相手から電話がかかってきた場合は、電話番号や名前等の発信者を特定するような情報を表示させない通信端末が提案されている（例えば、特許文献1参照。）。

【特許文献1】 特開2003-249994号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、着信時において発信者を特定する情報を表示させなくとも、電話帳には登録した友人や知人の電話番号は登録されているわけで、第三者に対して登録している電話番号を教えたりすることは防ぐことはできない。

また、電話帳に設定するシークレットフラグは電話機の所有者が設定するもので、電話番号の所有者の意志とは無関係に設定される可能性もあり、電話番号の所有者が知らないところで、第三者に開示される危険性は無くならない。

【0004】

以上のことを鑑みて、本発明は電話番号の所有者自身の意志で、自分の電話番号等の個人情報を着信した電話機に表示させない仕組みを提供するものであり、本発明を実施することにより、発信者からの電話を着信した相手は発信者の電話番号を知ることができないため、悪意のある第三者に対して発信者の電話番号を開示することは不可能となり、発信者の不利益が生じることがなくなる通信端末を提案するものである。

【課題を解決するための手段】

【0005】

前記従来の課題を解決するために、本発明の通信端末は、発信時に相手先情報を、受信時に発信者情報を表示する表示機能を備えた通信端末において、電話又は電子メールの送受信を行う通信部1と、電話又は電子メールを送受信する相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶部と、前記送受信相手の個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信相手から受信する通信部2と、前記通信部2から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶部に登録する相手情報取得部と、前記通信部1で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶部に登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定部と、前記通信部1で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶部に登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定部を備えたことを特徴とする。

【０００６】

また、本発明の通信端末は、さらに、前記個人情報記憶部に登録されている任意の個人情報と表示属性を選択する個人情報抽出部を備え、前記選択した個人情報と表示属性を前記通信部２より、通信相手に送信することを特徴とする。

【０００７】

また、本発明の通信端末の前記通信部２は、近距離無線通信を使った通信方式であることを特徴とする。

【０００８】

また、本発明の通信端末は、前記通信部２に代わって、前記相手情報取得部で取得する送受信相手情報と、前記個人情報提供部で提供する個人情報の送受信を通信部１で行うことを特徴とする。

【０００９】

また、本発明の通信端末表示方法は、発信時に相手先情報を、受信時に発信者情報を表示する表示機能を備えた通信端末の表示方法において、電話又は電子メールの送受信を行う通信ステップ１と、電話又は電子メールを送受信する相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶ステップと、前記送受信相手の個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信相手から受信する通信ステップ２と、前記通信ステップ２から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶ステップに登録する相手情報取得ステップと、前記通信ステップ１で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップと、前記通信ステップ１で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップを備えたことを特徴とする。

【００１０】

また、本発明の通信端末表示プログラムは、発信時に相手先情報を、受信時に発信者情報を表示する表示機能を備えた通信端末の表示プログラムにおいて、電話又は電子メールの送受信を行う通信ステップ１と、電話又は電子メールを送受信する相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶ステップと、前記送受信相手の個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信相手から受信する通信ステップ２と、前記通信ステップ２から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶ステップに登録する相手情報取得ステップと、前記通信ステップ１で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップと、前記通信ステップ１で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶ステップに登録されている該当表示属性を判断し、前記表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定ステップを備えたことを特徴とする。

【発明の効果】

【００１１】

本発明によれば、相手先から取得した表示属性に基づいて、発信時又は着信時に相手先を特定する個人情報を表示するか否かを判定し、相手先が許可しなければ相手先を特定する個人情報を表示しないことで、相手先が自分の電話番号やメールアドレスを自分の意志に反して第三者に開示することが無くなり、個人の情報の漏洩を防ぐことができる。

【００１２】

また、本発明によれば、自分の電話番号やメールアドレス又は表示属性を近距離無線通信を利用して送受信するために、相手を確認して提供できるので個人情報の提供を確実に行うことができる。

【００１３】

また、本発明によれば、相手を特定する情報を自己の携帯電話機で表示するか否かを指示する表示属性と、自分を特定する情報を相手先の携帯電話機で表示するか否かを指示す

る表示属性の提供と取得をメール等の通信手段で行うため、相手先が遠方であっても相手先が自分の電話番号やメールアドレスを自分の意志に反して第三者に開示することが無くなり、個人の情報の漏洩を防ぐことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0014】

（実施の形態1）

実施の形態1においては、電話番号を相手の携帯電話機に送信する場合に電話番号表示属性を併せて送信し、相手の携帯電話機において受信した電話番号と表示属性により、相手の電話番号を含めた相手を特定する情報の表示を制御する内容について説明する。

【0015】

図2は本発明の実施の形態1における携帯電話機100、101の構成を示している。携帯電話機100（発信側）、101（受信側）は、電話やメールの送受信を行う通信部1（208）と、外部に対して自分を含めた個人情報記憶部204の個人情報を提供する個人情報提供部205と、前記個人情報提供部で提供する個人を入力する入力部201と、前記入力部によって入力した個人の個人情報を個人情報記憶部204から抽出する個人情報抽出部202と、外部から送受信相手の個人情報を取得する相手情報取得部203と、送受信時に個人情報記憶部に登録されている個人情報を表示する時、電話番号等の個人情報を表示するか否かを判定し、また、前記個人情報提供部から個人情報を提供する時、電話番号等の個人情報を提供してよいかどうかを判定する個人情報判定部206と、前記個人情報判定部での判定した結果にしたがって、電話番号等の個人情報を表示する表示手段207と、前記相手情報取得部と個人情報提供部の送受信を近距離無線通信で行う通信部2（209）より構成される。

【0016】

次に、上記構成の携帯電話機100、101の動作について説明する。（1）携帯電話機100を所有するAさんが、自分の電話番号等の個人を特定する情報を携帯電話機101を所有するBさんに提供し、Bさんの携帯電話機101の電話帳閲覧機能でAさんの個人情報を閲覧する時のAさんの個人情報表示に関する説明。（2）Aさんからの電話発信をBさんの携帯電話機101で着信した時のBさんの携帯電話機101でのAさんの個人情報表示に関する説明。（3）Bさんの携帯電話機101で着信履歴を閲覧する時のAさんの個人情報表示に関する説明。（4）BさんがAさんに電話発信した時のBさんの携帯電話機101でのAさんの個人情報表示に関する説明を行う。

【0017】

（1）携帯電話機100を所有するAさんが、自分の電話番号と電話番号の表示等の個人を特定する情報を携帯電話機101を所有するBさんに提供し、Bさんの携帯電話機101の電話帳閲覧機能でAさんの個人情報を閲覧する時のAさんの個人情報表示に関する説明を行う。

まず、図3と図4のフローチャートに基づいて、AさんがBさんに対してAさんの電話番号とBさんの携帯電話機でのAさんの電話番号の表示可否を決める表示属性を送信し、Bさんの携帯電話機101にAさんの電話番号と表示属性が記憶される手順について説明する。

携帯電話機100の個人情報抽出部202より、提供する（Aさんの）電話番号を選択し（S301）、個人情報記憶部204より前記提供する人（Aさん）の電話番号を取得し（S302）、入力部201より前記選択した電話番号提供相手（Bさん）に対する表示属性を入力する（S304）。自分の電話番号と表示属性を提供する相手（Bさん）を選択し（S311）、前記入力部201により入力した表示属性と自分の電話番号を個人情報提供部205から、提供相手（Bさん）に送信する（S312）。

【0018】

なお、前記説明では自分の電話番号と表示属性を提供相手（Bさん）に対して提供したが、個人情報記憶部204に登録されている自分以外の個人情報を提供する場合、個人情報記憶部204に登録されている該表示属性を判定して、提供の可否を決める（S307

）。前記表示属性が「表示可」（電話番号の所有者が該電話番号等の個人情報をも自分以外の携帯電話機で表示することを許可している）であれば、該電話番号等の個人情報を提供する（S312）。しかし、該電話番号の表示属性が「表示不可」（電話番号の所有者が該電話番号等の個人情報をも自分以外の携帯電話機で表示することを禁止している）であれば、該電話番号等の個人情報は提供しない（S308）。

この場合の情報提供する通信手段はIrDAとか、Bluetoothのような赤外線通信や近距離無線通信を利用する。赤外線通信や近距離無線通信を利用することで、重要な個人情報である電話番号を渡す人を目の前にする必然性があり、個人情報を渡す相手を確認することができるため情報が漏洩する危険性は下がる。

Bさんは携帯電話機101の相手情報取得部203でAさんの電話番号と表示属性を受信し（S401）、受信したAさんの電話番号と表示属性等の個人情報は個人情報記憶部204に記憶する（S402）。

【0019】

つぎに、図5に基づいて、Bさんが携帯電話機101で電話帳を閲覧する手順について説明する。

個人情報抽出部202により、電話帳機能で閲覧したい個人を選択すると（S501）、個人情報判定部206は個人情報記憶部204から選択した個人の表示属性を判定し（S503）、表示属性が「表示不可」であれば、個人を特定する情報、例えば電話番号を閲覧画面には表示しない（S507）、表示属性が「表示可」であれば、個人を特定する情報、例えば電話番号を閲覧画面に表示する（S504）。

また、個人を特定する情報がメールアドレスであれば、表示属性が「表示不可」であれば、メールアドレスを閲覧画面には表示しない（S508）、表示属性が「表示可」であれば、メールアドレスを閲覧画面に表示する（S506）。

【0020】

（2）Aさんからの電話発信をBさんの携帯電話機101で着信した時のBさんの携帯電話機101でのAさんの個人情報表示に関する手順を図6のフローチャートに基づいて説明する。

Bさんの携帯電話機101の通信部1（208）はAさんからの電話を着信すると（S601）、個人情報抽出部202より発信者Bさんの個人情報を取得し（S602）、表示属性を判定し（S603）、表示属性が「表示不可」であれば、Aさんの電話番号を着信画面に表示しない（S605）、表示属性が「表示可」であれば、Aさんの電話番号を着信画面に表示する（S604）。

【0021】

（3）Bさんの携帯電話機101で着信履歴を閲覧する時のAさんの個人情報表示に関する手順を図7のフローチャートに基づいて説明する。

入力部201より着信履歴の閲覧機能を選択すると、個人情報抽出部202は個人情報記憶部204から着信履歴に残っているAさんの電話番号の表示属性を取得し（S702）、該当電話番号の表示属性が「表示不可」であれば、Aさんの電話番号を着信履歴画面に表示しない（S705）、表示属性が「表示可」であれば、Aさんの電話番号を着信履歴画面に表示する（S704）。

また、メール着信履歴の閲覧の場合、表示属性が「表示不可」であれば、メールアドレスをメール着信履歴画面には表示しない（S705）、表示属性が「表示可」であれば、メールアドレスをメール着信履歴画面に表示する（S704）。

【0022】

（4）BさんがAさんに電話発信した時のBさんの携帯電話機101でのAさんの個人情報表示に関する手順を図8のフローチャートに基づいて説明する。

入力部201より電話発信する相手Aさんを選択すると（S801）、個人情報抽出部202は個人情報記憶部204から電話発信するAさんの電話番号の表示属性を取得し（S802）、該当電話番号の表示属性が「表示不可」であれば、Aさんの電話番号を発信画面に表示しない（S805）、表示属性が「表示可」であれば、Aさんの電話番号を発

信画面に表示する（S 8 0 4）。

以上のことにより、携帯電話機 1 0 0 の所有者 A さんが表示属性を「非表示」に設定して、電話番号やメールアドレスなどの個人情報を B さんに提供した場合、B さん所有の携帯電話機 1 0 1 の表示画面では A さんの電話番号やメールアドレスは一切表示されないため、B さんの携帯電話機 1 0 1 に保持されている A さんの電話番号やメールアドレスなどの個人情報が A さんの意志を離れて、B さんの意志で第三者に提供されることは無くなる。

【 0 0 2 3 】

（実施の形態 2）

実施の形態 1 においては、電話番号やメールアドレスの個人情報に併せて、前記個人情報を自分以外の電話機等での表示可否について指示する表示属性を I r D A や B l u e t o o t h などの近距離無線通信を使って送受信相手に提供する実施の形態について説明した。個人情報を提供する相手を確認して渡すことは、個人情報を守ることにおいては最も確実な方法ではあるが、送受信相手がいつも近距離無線通信で提供できる範囲にいるとは限らず、送受信相手の多くは近距離無線通信では提供できない遠くにいる場合が多い。そこで、第 2 の実施の形態においては、電話番号やメールアドレスや表示属性等の個人情報を電話やメールで提供する提供方法を中心に説明する。

【 0 0 2 4 】

図 1 1 は本発明の実施の形態 2 における携帯電話機 1 0 0 、 1 0 1 の構成を示している。携帯電話機 1 0 0 （発信側）、1 0 1 （受信側）は、外部に対して自分を含めた個人情報記憶部 2 0 4 の個人情報を提供する個人情報提供部 2 0 5 と、前記個人情報提供部で提供する個人を入力する入力部 2 0 1 と、前記入力部によって入力した個人の個人情報を個人情報記憶部 2 0 4 から抽出する個人情報抽出部 2 0 2 と、外部から送受信相手の個人情報を取得する相手情報取得部 2 0 3 と、送受信時に個人情報記憶部に登録されている個人情報を表示する時、電話番号等の個人情報を表示するか否かを判定し、また、前記個人情報提供部から個人情報を提供する時、電話番号等の個人情報を提供してよいかどうかを判定する個人情報判定部 2 0 6 と、前記個人情報判定部での判定した結果にしたがって、電話番号等の個人情報を表示する表示部 2 0 7 と、前記相手情報取得部と個人情報提供部の送受信と、電話やメールの送受信を行う通信部 1 （2 0 8）より構成される。

【 0 0 2 5 】

携帯電話機 1 0 0 の所有者 A さんは自分の電話番号等の個人情報と表示属性をメール等の送信手段で送受信相手の携帯電話機 1 0 1 を所有する B さんに送信すると、B さん所有の携帯電話機 1 0 1 においては、B さんは受信した個人情報を見ることなく、個人情報記憶部 2 0 4 に登録される。なお、電話番号等の個人情報と表示属性を個人情報記憶部 2 0 4 に記憶すれば、表示に関しては実施の形態 1 と同じである。

また、電話番号等の個人情報のセキュリティを守るためには、電話番号等の個人情報とその表示属性は必ず、セットでやり取りすることが基本となり、表示属性が未設定の場合は「非表示」として扱うことを基本とする。

また、個人情報提供部 2 0 5 で提供した電話番号等の個人情報の取り扱いを指示する表示属性は、メール等の通信手段により変更が可能である。

【 0 0 2 6 】

また、本機能は汎用プログラムとして単体で用意し、種々のアプリケーションプログラムに少しのプログラム変更によって組み込むことができるようにすれば、個人情報を保護するソフトウェアとしてアプリケーションソフトウェアの開発者や販売者に販売することもできるようになる。

【産業上の利用可能性】

【 0 0 2 7 】

本発明にかかる通信端末、通信端末表示方法、及び通信端末表示プログラムは、自分の電話番号やメールアドレス等の個人情報を相手先の携帯電話機で表示させないセキュリティ機能を利用して、個人情報を漏洩させないことを特徴にした携帯電話機に適用できる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 8 】

【図 1】 第 1 の実施の形態の概略イメージ図。

【図 2】 第 1 の実施の形態における電話機の構成図。

【図 3】 第 1 の実施の形態における発信側の電話番号等個人情報提供フロー図。

【図 4】 第 1 の実施の形態における受信側の電話番号等個人情報取得フロー図。

【図 5】 第 1 の実施の形態における電話帳閲覧処理のフロー図。

【図 6】 第 1 の実施の形態における電話着信処理のフロー図。

【図 7】 第 1 の実施の形態における着信履歴処理のフロー図。

【図 8】 第 1 の実施の形態における電話発信処理のフロー図。

【図 9】 第 1 の実施の形態における個人情報記憶テーブル図。

【図 1 0】 第 1 の実施の形態における電話帳閲覧、着信履歴イメージ図。

【図 1 1】 第 2 の実施の形態における電話機の構成図。

【図 1 2】 第 1 の実施の形態における表示属性変更処理のフロー図。

【符号の説明】

【 0 0 2 9 】

1 0 0 携帯電話機（発信側）

1 0 1 携帯電話機（受信側）

2 0 1 入力部

2 0 2 個人情報抽出部

2 0 3 相手情報取得部

2 0 4 個人情報記憶部

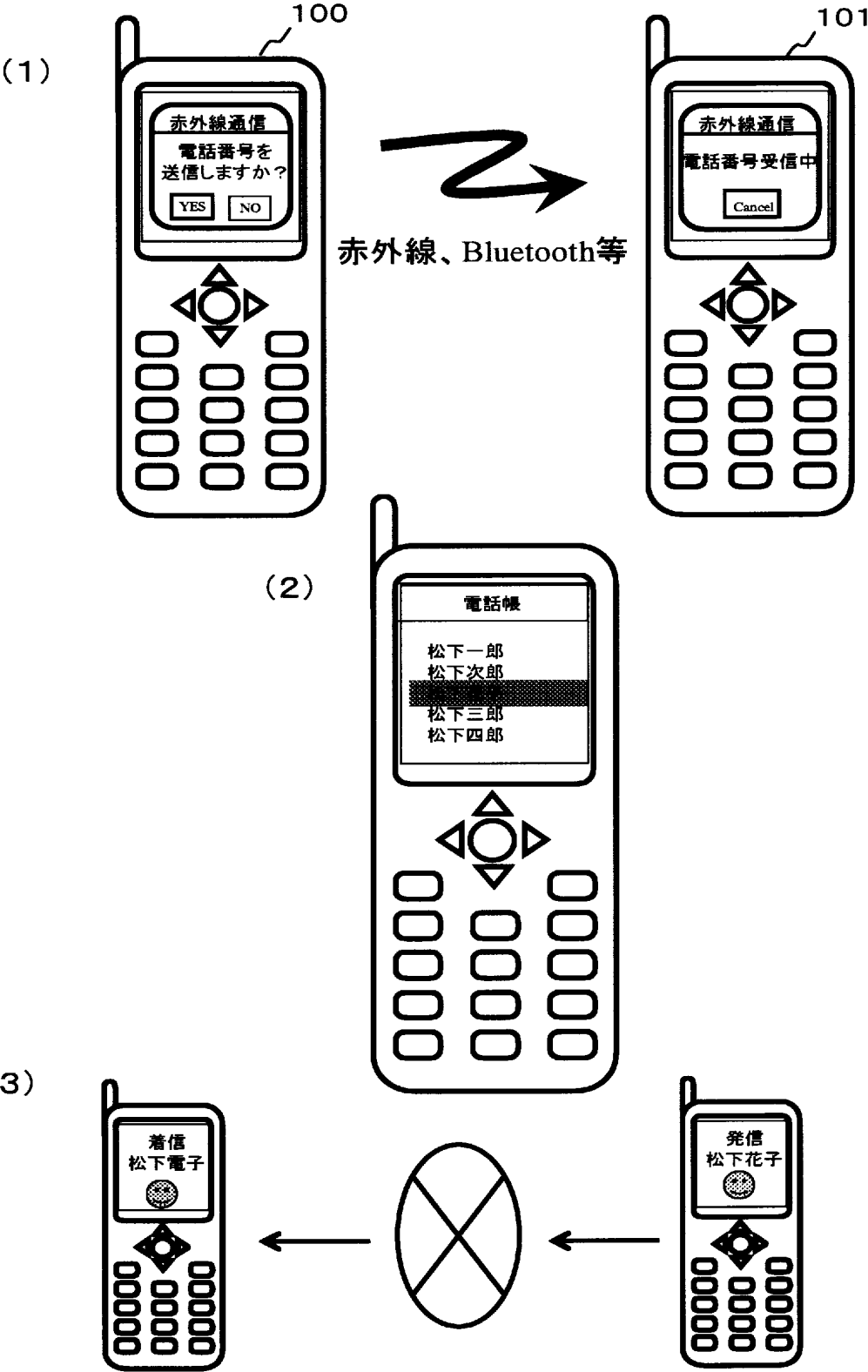
2 0 5 個人情報提供部

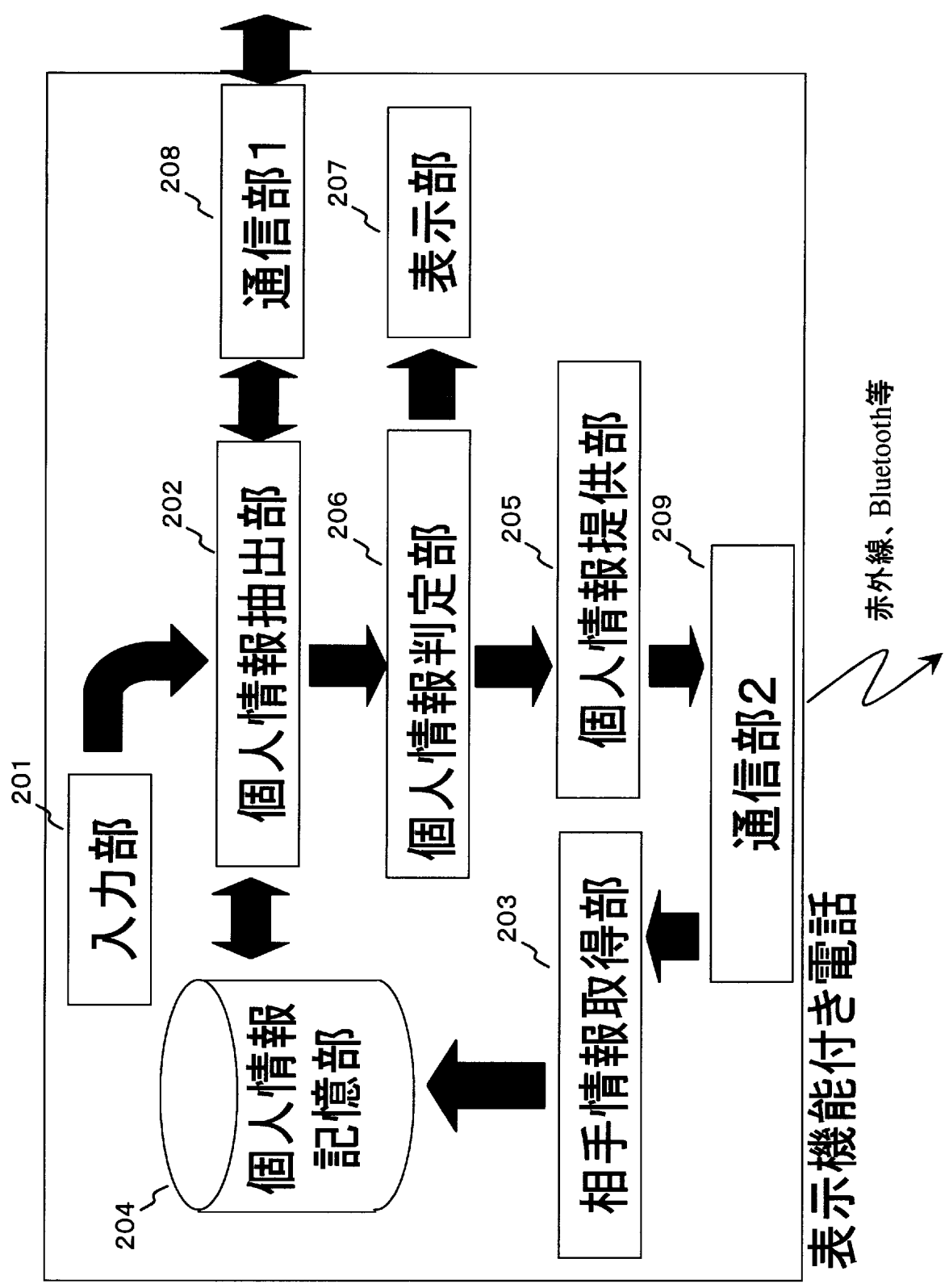
2 0 6 個人情報判定部

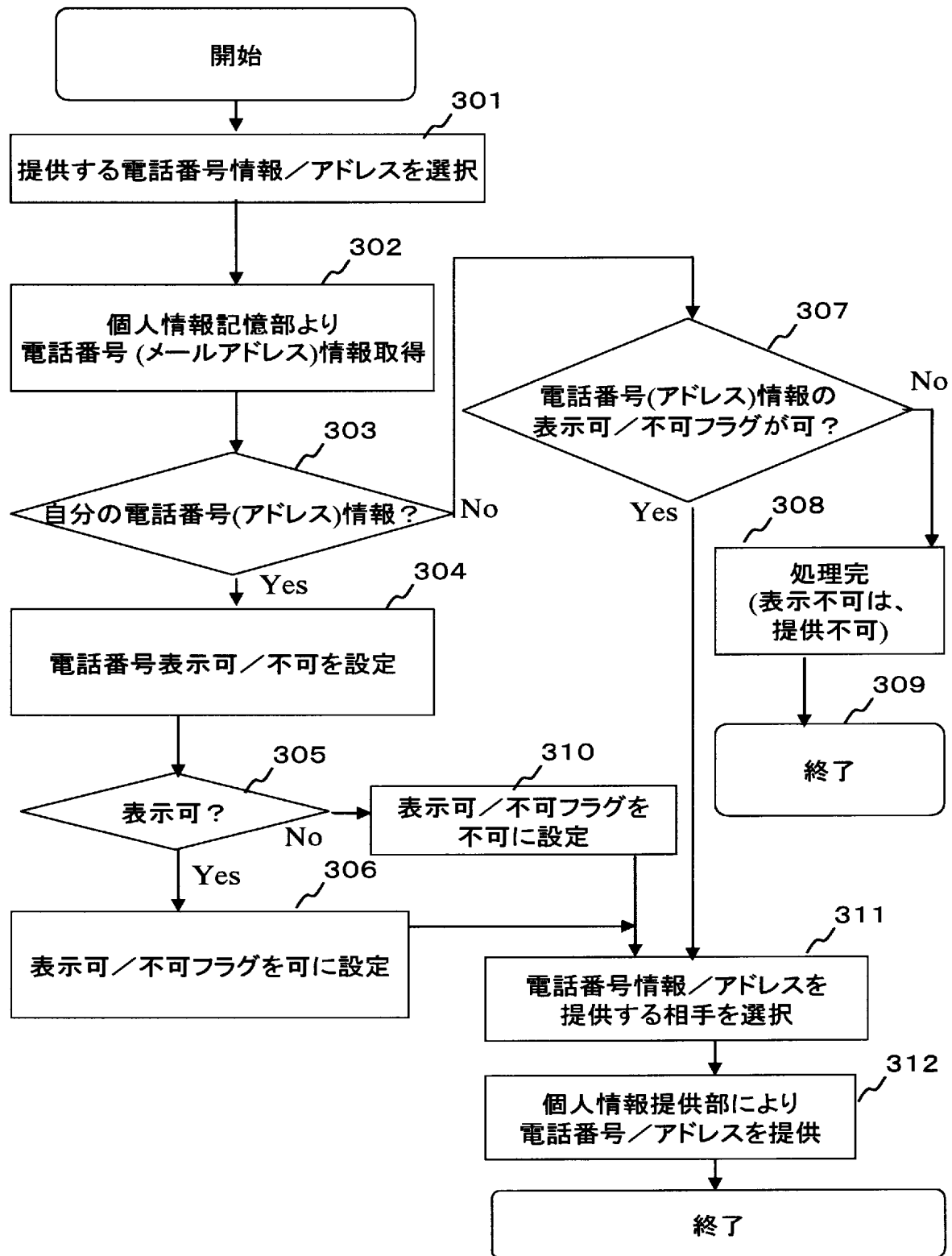
2 0 7 表示部

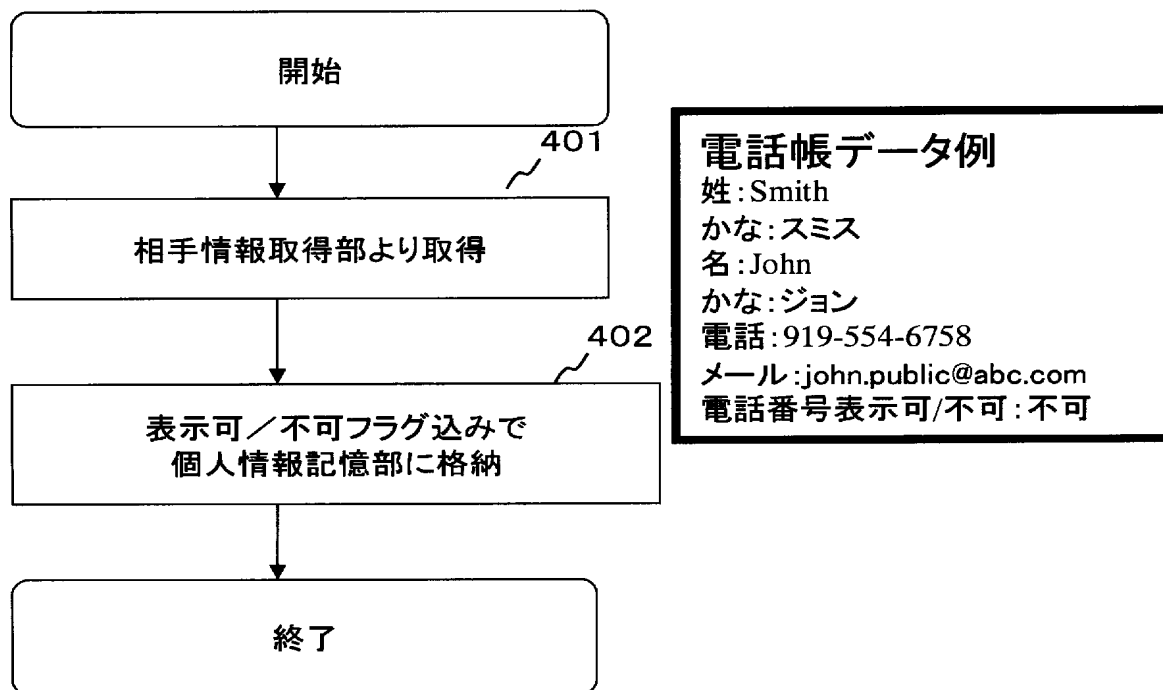
2 0 8 通信部 1

2 0 9 通信部 2



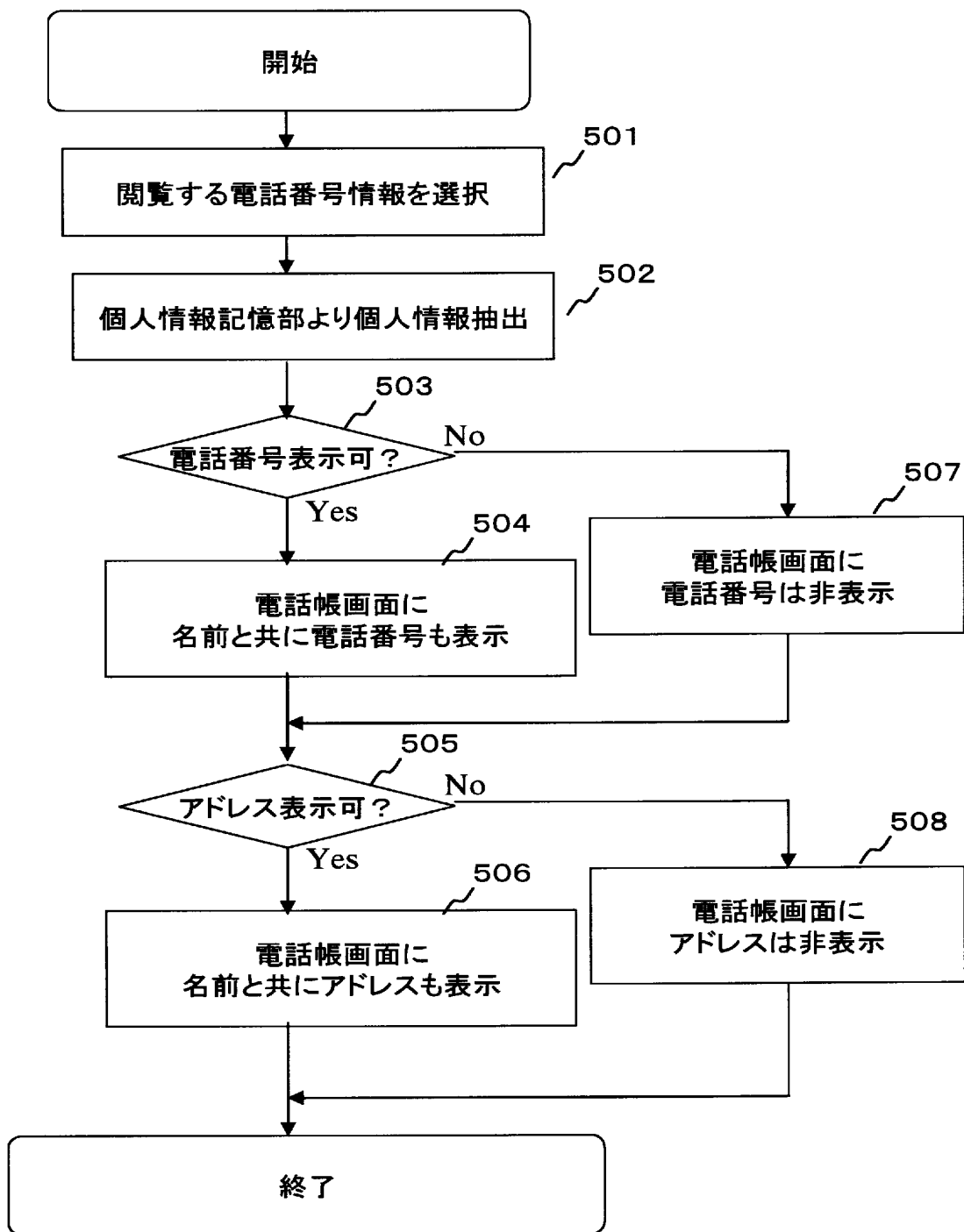




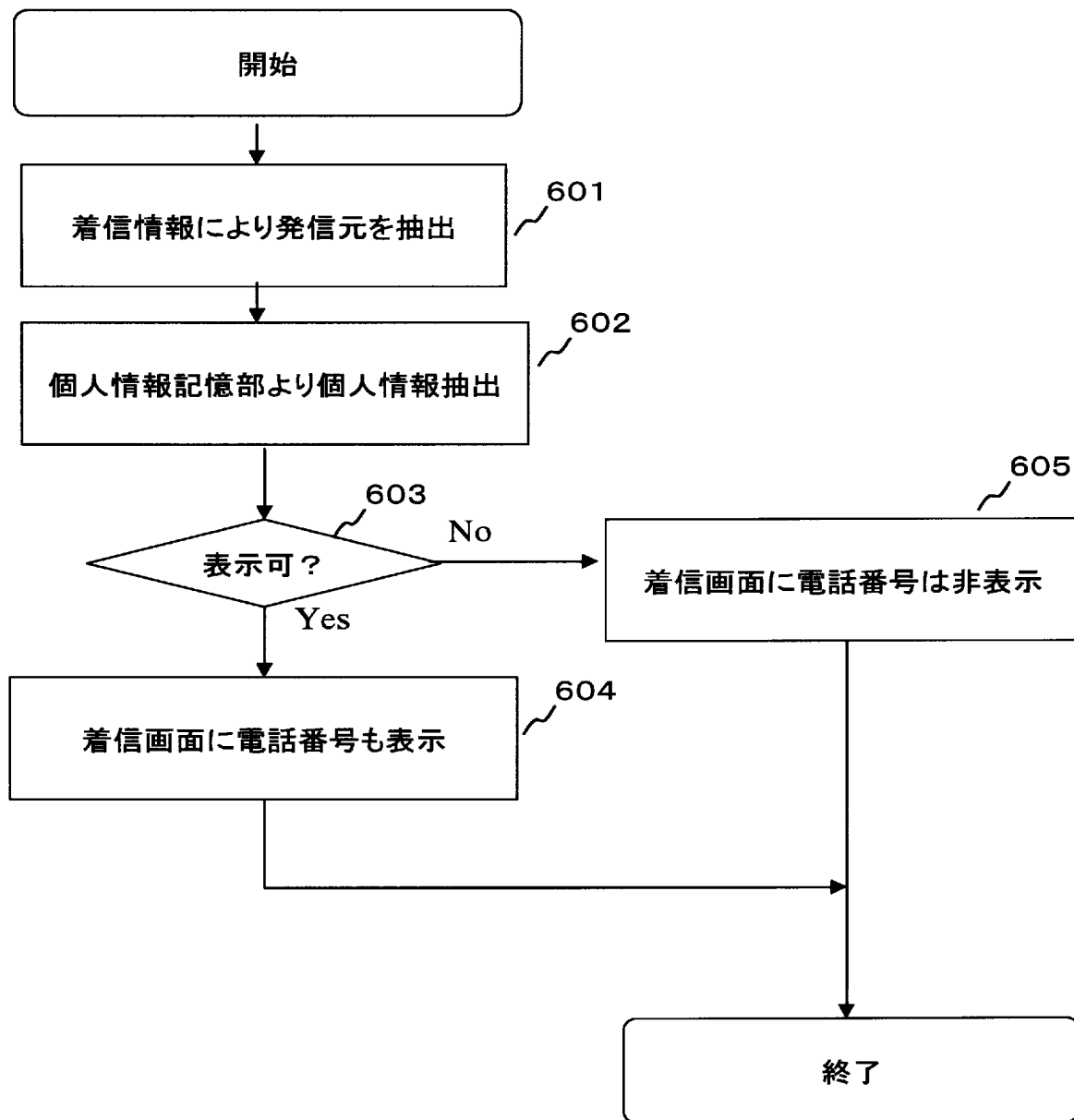


```
BEGIN:VCARD
VERSION:2.1
N:Smith;John;M.;Mr.;Esq.
TEL;WORK;VOICE;MSG:+1 (919) 555-1234
TEL;CELL:+1 (919) 554-6758
TEL;WORK;FAX:+1 (919) 555-9876
EMAIL;INTERNET:john.public@abc.com
ADR;WORK;PARCEL;POSTAL;DOM:Suite 101;1 Central St.;Any
Town;NC;27654
END:VCARD
```

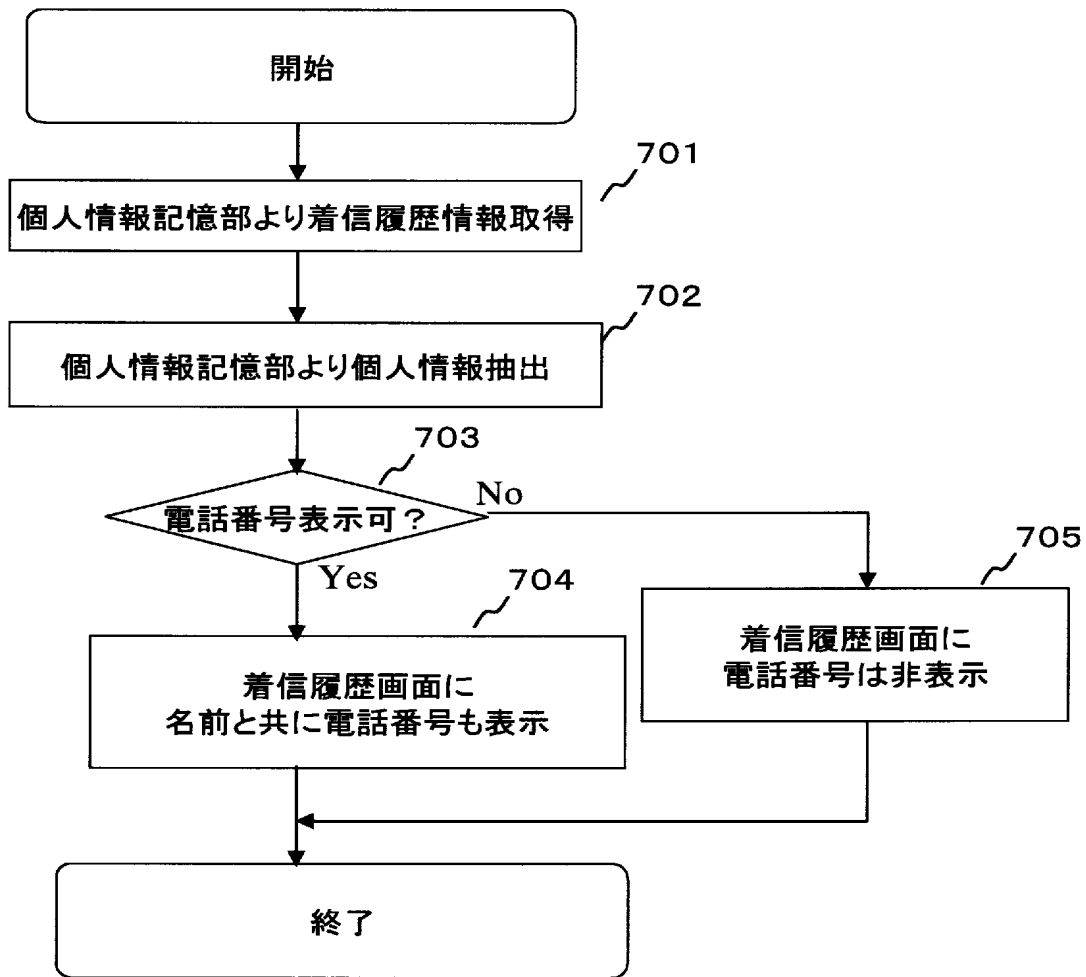
【図 5】



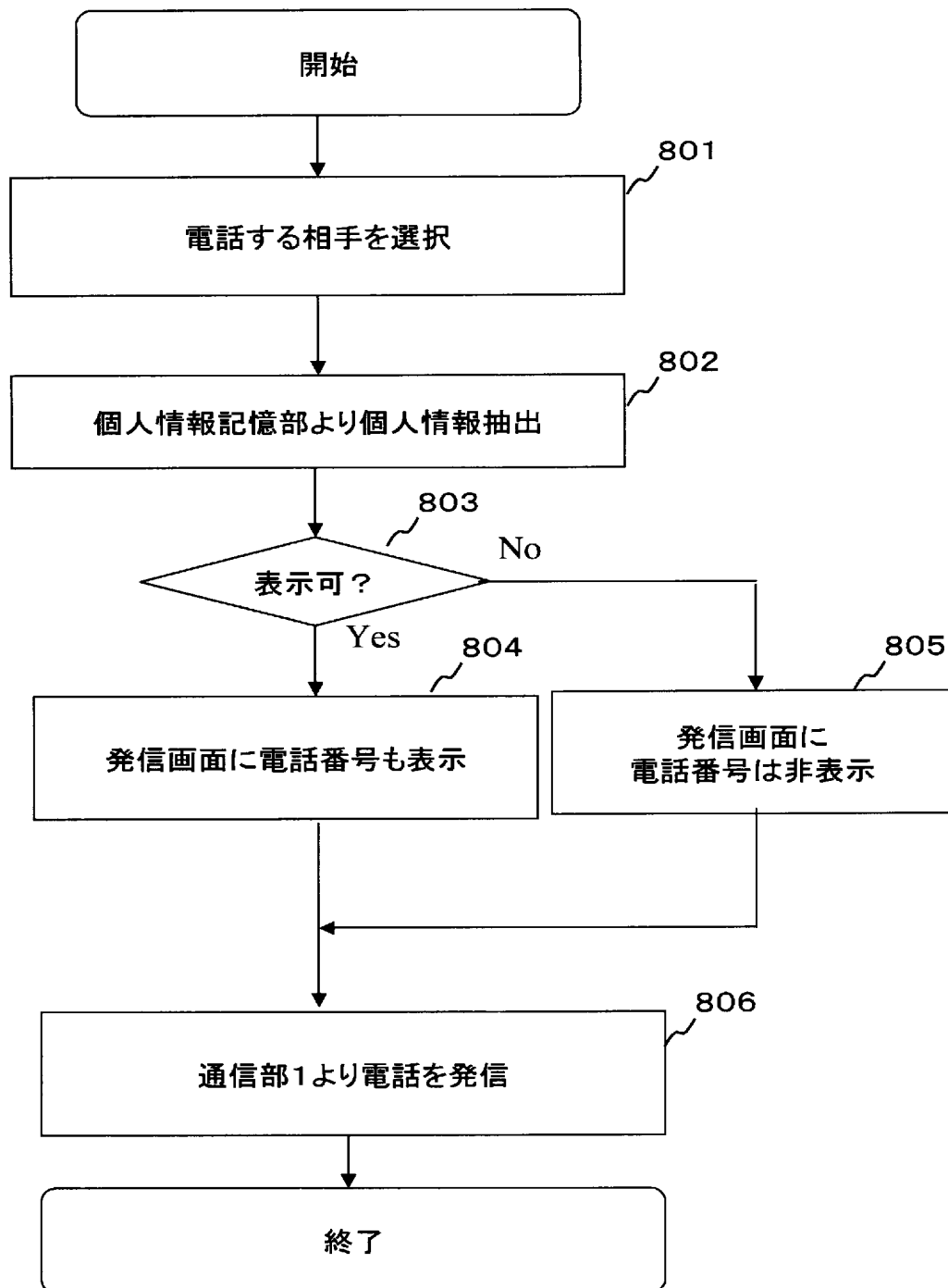
【図 6】



【図 7】



【図 8】



個人情報記憶テーブル図

姓	かな	名	かな	電話番号	メール	電話番号 表示可／ 不可
松下	まつ した	一郎	いち ろう	080-1234- 5678	ichiro@pana.com	不可
松下	まつ した	次郎	じろう	070-2222- 2222	jiro@pana.ne.jp	可
松下	まつ した	三郎	さぶ ろう	090-8888- 8888	saburo@pana.ne.jp	可
松下	まつ した	花子	はな こ	090-3333- 3333	hanako@pana.co.jp	不可

(1)

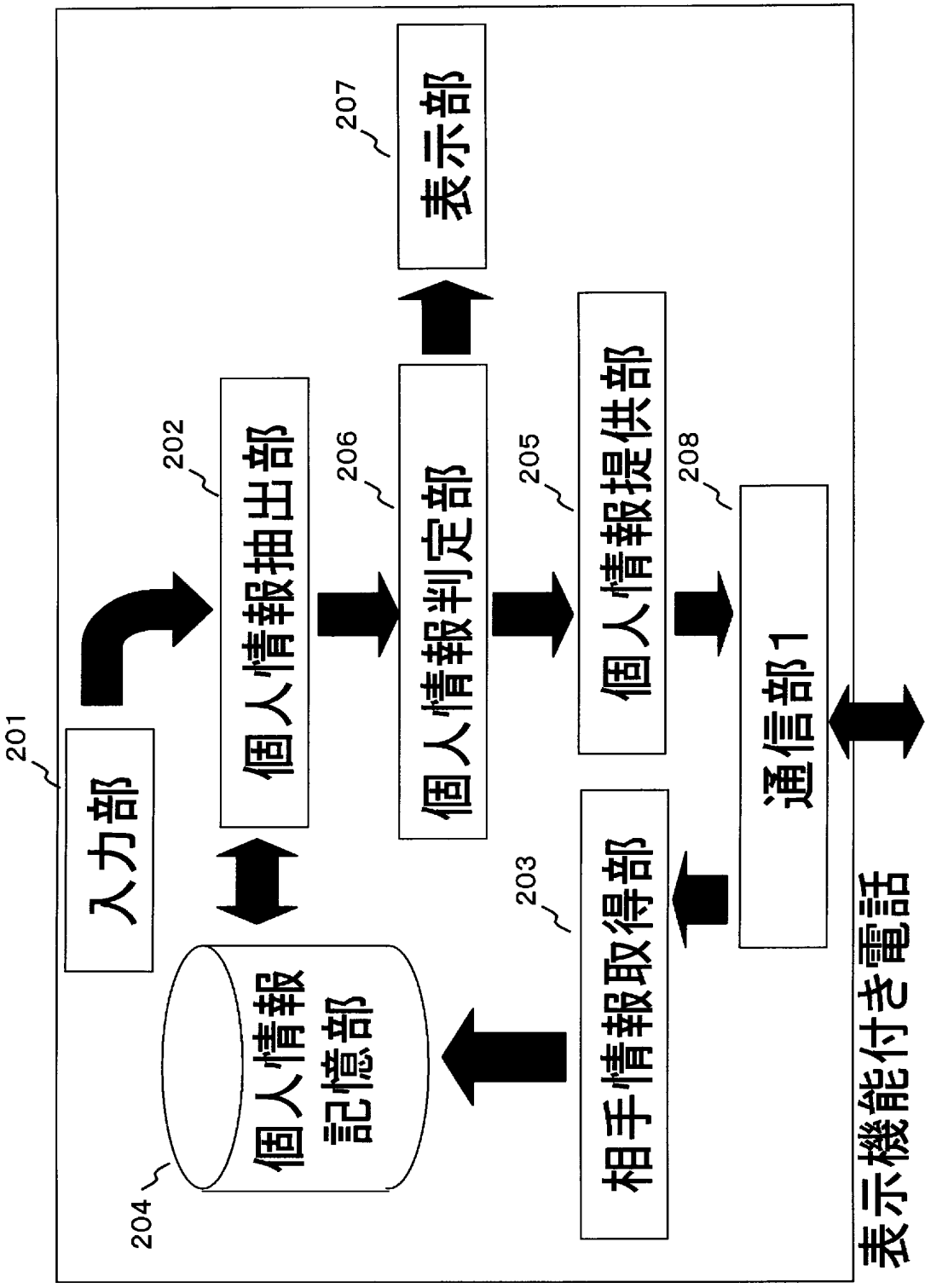
電話帳
松下 花子
まつした はなこ
TEL -----
mail hanako@pana.co.jp

(2)

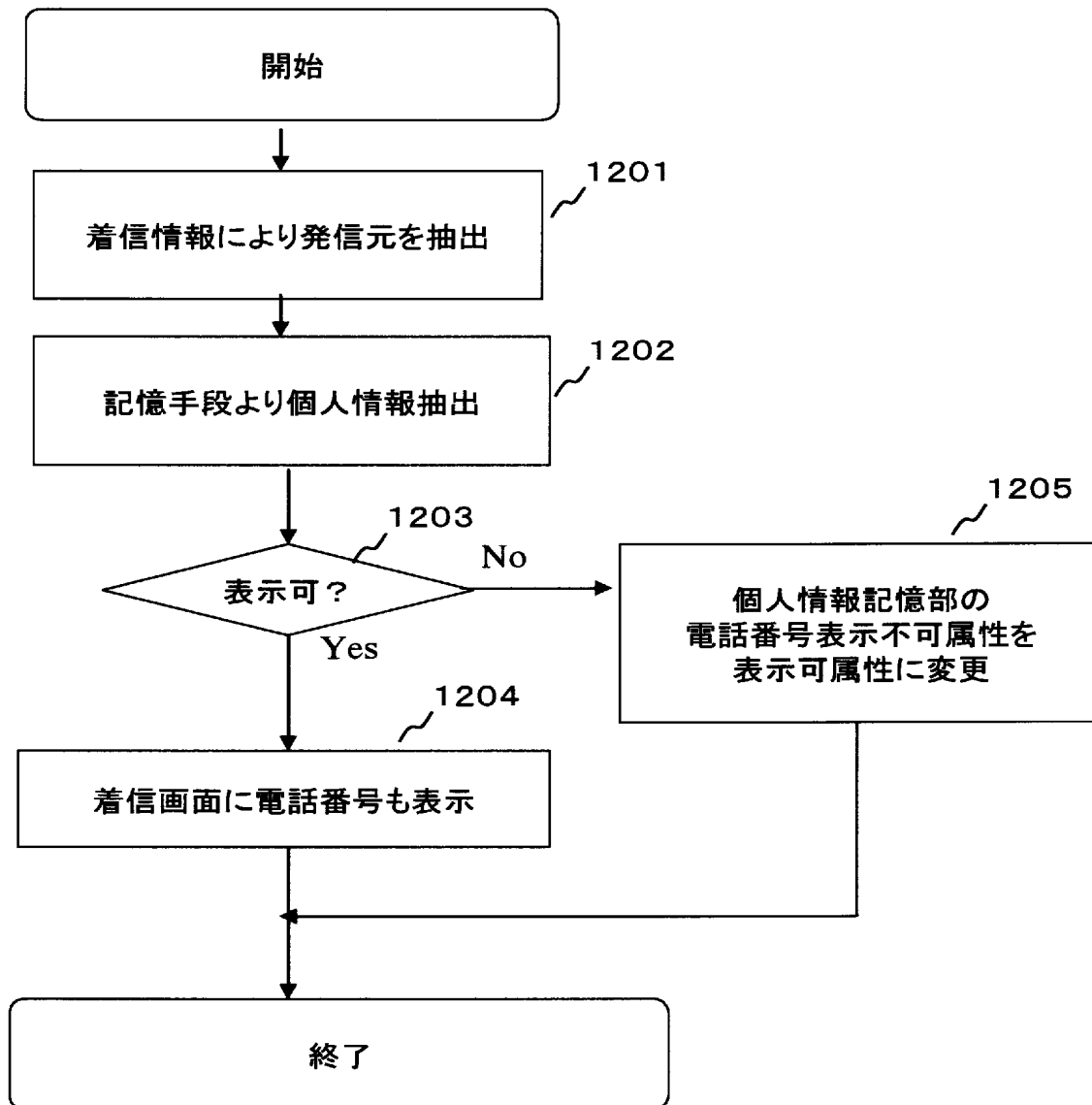
着信履歴
①3/3 19:38 松下一郎 08012345678
②3/3 17:08 松小花子 -----
③3/3 12:48 松下次郎 07022222222

(3)

メール送信
to:松小花子<-----> Subject:日曜日の件 今度の日曜日だけど、い つもの連中で温泉に行か ない？



【図 1 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電話番号又はメールアドレスなどの個人情報を相手に教えることで、本人の意志とは無関係に第三者に漏れる危険性がある。

【解決手段】 電話又は電子メールの送受信を行う通信部１と、送受信相手の個人情報を蓄積する個人情報記憶部と、前記個人情報と、個人情報を表示するか否かを指示する表示属性を送受信相手から受信する通信部２と、前記通信部２から受信した個人情報と表示属性を前記個人情報記憶部に登録する相手情報取得部と、前記通信部１で電話又は電子メールを受信した場合、前記個人情報記憶部に登録されている該当表示属性が表示不可指示であれば、発信者情報を表示しない指示を行う個人情報判定部と、前記通信部１で電話又は電子メールを送信する場合、前記個人情報記憶部に登録されている該当表示属性が表示不可指示であれば、相手先情報を表示しない指示を行う個人情報判定部を備える。

【選択図】 図２

出願人履歴

0 0 0 0 0 5 8 2 1

19900828

新規登録

大阪府門真市大字門真1 0 0 6 番地

松下電器産業株式会社